

お取引先各位

事務所移転のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、予てより神戸港ポートアイランドに建設中の新社屋・倉庫『兵機海運 神戸物流センター』が近々竣工の運びとなり、それに伴い、現在神戸市内にある事務所（本社・本社営業部・本社外航部・神戸支店）及び倉庫（兵庫倉庫・甲南倉庫）を一つに集約し、下記の通り移転することと致しましたので、ご案内申し上げます。

神戸市内の各事務所・倉庫を統合することで、業務効率を向上させるとともに、お客様のニーズにスピーディーにお応えし、より一層お役に立てる会社に成長してまいる所存でございます。

つきましては何卒ご高承のうえ、今後ともお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

まずは略儀ながら書中をもって、ご挨拶申し上げます。

敬具

平成22年4月吉日

兵機海運株式会社
代表取締役社長 大東 洋治

記

【新住所】 〒650-0045 神戸市中央区港島3丁目6番1

【業務開始日】 平成22年4月26日（月曜日）

※移転に伴う新組織表（電話番号表）及び新社屋地図を添付いたします。

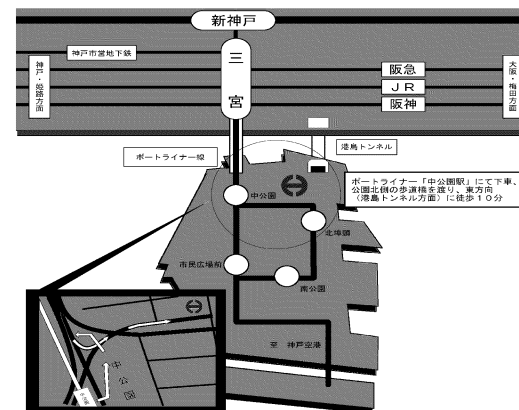
以上

兵機海運 神戸地区 新組織表・ご案内図

【新電話番号・FAX番号】 平成22年4月26日より営業開始

部署		電話番号 078-940-xxxx	FAX番号 078-940-xxxx	
管理部 総務課		2351	2350	
財務部	財務課	2352	2350	
	会計課	2353	2349	
内部監査室		2351	2350	
情報システム部		2354	2349	
本社	営業部	営業一課	2361	2371
		営業二課	2362	2372
	国際輸送部 営業課		2363	2373
	通関部 通関課		2360	2370
営業部	倉庫部	総務課	2364	2374
		営業課		
		作業課		
内航海運部 営業課		2368	2369	
外航海運部 営業課		2366	2365	

【移転先ご案内図】 〒650-0045 神戸市中央区港島3丁目6番1



過失が悪い時に悪い場所で起こった、そうした事故が数多く存在すると考えられる。委員会は、各国政府、特に先進国へ、そうした事故を政治的に扱うこと、並びに無実が証明されるまでは有罪であるかのように扱うことなど、船員の人権を軽視することによって、将来の船員リクルート及び自らの法体系への評価に及ぼす弊害を再考することを促した。

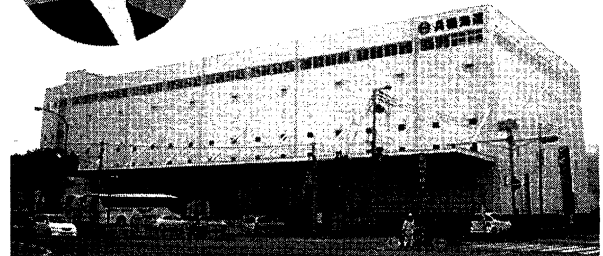
兵機海運の神戸物流センターが竣工

本社・倉庫機能を集約、26日から業務開始

兵機海運（本社・神戸市、大東洋治社長）が神戸港ポートアイランドに建設していた新社屋兼倉庫の「神戸物流センター」が完成し、16日、関係者に披露された。本社機能をはじめ、市内にある兵庫倉庫や甲南倉庫の倉庫機能も集約し業務の効率化を図ったもので、今月26日から本格的に業務を開始する。

(第三種郵便物認可) 日刊海事通信／内航版 2010年(平成22年)4月20日

新物流センターは、ポーアイトと市内を結ぶ港島トンネル出入口付近の用地約1万㎡に建設された5階建て(延床面積=約2万2,500㎡)の事務所兼倉庫。このうち倉庫部分は4階建てで、定温倉庫(約1,500㎡)を併設しているほか、屋上には輸出入車両183台などが収容できる駐車スペースも設けた。さらに、庫内には垂直搬送機、荷物用・乗用エレベーターなどを設置している。



兵機海運の神戸物流センター、
左上はあいさつする大東社長

市内のホテルで行われた竣工披露パーティーでは、大東社長が「2005年に5カ年計画を立案し、近海船の新造整備や全天候型倉庫建設などに約80億円を投資し、2010年度には200億円の売上げを目指していたが、世界同時不況の影響で大幅な減収を余儀なくされた。今回の新センター建設を機に、経営基盤の強化と財務体質の健全化に努め、2020年度には売上高300億円、経常利益率6%を目指したい」とあいさつ。

来賓を代表して関元貫至・神戸運輸監理部長が祝辞を述べ、「新センターは“天の時”(建設時期)、“地の利”(交通至便)に優れ、さらに運営する兵機海運が内航業者を統合した“人の和”で設立された。この三拍子揃った施設が成功するのは間違いない」と、孟子の言葉を引用し新センターに期待を寄せた。

続いて、岡口憲義・神戸市みなと総局長が「神戸港が取り組むスーパー中核港湾、戦略港湾に大きく貢献してくれると期待し、当局としても神戸港の集荷に全力を尽くしたい」と述べ、乾杯の音頭をとった。このあと、関係者による鏡開きが行われ、新センターの完成を祝った。

公表

死を提言

党が6月に予定する成長「2010」をまとめ、公化など6つの柱からなる法の抜本改善による保税トオリンティへの移

ト双方のインフラ整備を迅速・大胆に進めること
で、仁川空港、上海港、釜山港に打ち勝てる競争力と効率性を備えることを提言した。

具体的には、政治のり

「ターシブ」を發揮し、輸出入通関制度の改革を省庁横断的に進める必要性を強調。関税法の抜本改革によって、企業にとって使い勝手の悪い保税搬入原則を早急に撤廃すべきを要請した。またAEO制度の利用実態を調査し、問題点を洗い出しと改善を提言。方向としてはAEO事業者の拡大に向け、事業者別に構築されている現行制度の枠組みそのものの見直しや、AEO制度の国際的な統一を目指して主要国政府への働き掛けを求めた。同時に、AEO事業者による輸出申告の事後届け出制の導入について検討することも求めた。

しては、港湾について広域連携の強化とポートオ

工場との連携強化を進め

ナヤードへの鉄道引き延

運海機 新社屋・倉庫が竣工 「神戸物流センター」200人見学

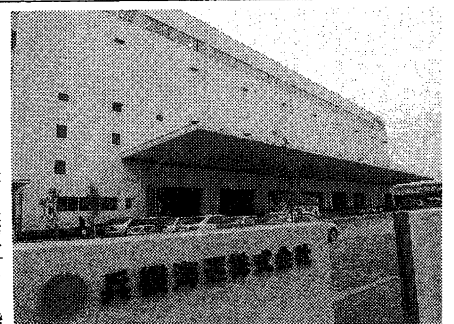
【関西】兵機海運(本社・神戸市、大東洋治社長)が神戸港ポートアイランドで建設を進めていた新社屋・倉庫「兵機海運神戸物流センター」(神戸市中央区港島3-6-1)が竣工し16日、関係者に公開された。関元貴

至・神戸運輸監理部長や岡口憲義・神戸市みなと総局長ら約200人が見学に訪れた。

15レインを備え、迅速な搬入が可能だという。業務開始は26日の予定。神戸市内に点在していた本社営業部、本社外航部、神戸支店と兵機倉庫、六甲倉庫を同センター

来賓の関元運輸監理部長は「経済が回復基調にあるときに完成した『天の時』、港湾、空港、高速道路に近い『地の利』、兵庫の内航海運会社が結集してできた歴史を持つ『人の輪』の3拍子がそろっている。必ず大成功を収める。神戸港にも大きな貢献を果たしていただけるのでは」と期待を寄せた上で、「事務所や倉庫を集約したことで、物流総合効率化法に基づく『総合効率化計画』に認定された。税制面での優遇措置も受けられる」と述べた。

岡口総局長は「神戸港でのスーパー中核港湾プロジェクト、国際戦略港湾に向けた取り組みに大きく弾みがつく。今後、手を携えながら神戸港の集荷、貨物量の増加に全力を尽くしたい」と述べた。



竣工した兵機海運神戸物流センターの10年計画で、大型冷凍・冷蔵倉庫の建設、近海船の新造整備、内航船の代替建造に1500億円を投資し、売上高300億円、経常利益率6%

国際バルク戦略港湾検討委の第5回会合

また、会見では2010年度予算に計上されているバルク拠点港湾の基本計画の策定を目指した産業物流高度化を推進するための社会実験(1億円)にも言及。バルク戦略港湾の選定とは別のもの(同)との見解を示した。

第6回会合は5月20日に開催され、バルク戦略港湾の目指すべき姿、選定基準、公募手順の取りまとめを行い、5月(6)から6月初旬に公募を開始する予定となっている

相交 高速道路新料金 「粛々と進める」

「与党3党、国対(国会対策委員会)とも調整をして出したもの。粛々と進めさせていたんだ」と述べ、国交省案の見直しは行わない考えを示した。

せ6月に実施する上限料金案については、本四航路フェリーへの影響を考慮し、ほかの高速道路(NEXCO)が運営する高速道路より高めの料金設定としていることに対し、与党内からも反発の声が出ている。

「一、長距離フェリーにと、主要顧客である大型車が中型車と同じ上

力を尽くしたい」と述べた。

し要理揚発組者い出れ
は「取りまとめを今行いうかという議論もあったが、あえて次回にした」と話し、すでに大枠が固まっていることを示唆。さらに、基準について「大型船の入港に向けて施設の物理的優位性を有すること」と「荷主・ターミナル会社・荷役業者・メーカーなどロジスティクスを支える関係者の合意の下に計画づくりが行われていること」を紹介し、対象品目である穀物(大豆・トウモロコシ)・石炭、鉄鉱石の品目

を明言。次回検討会で示す(長安政務官)方針



前原誠司国土交通相は16日の閣議後会見で、高速道路の新料金

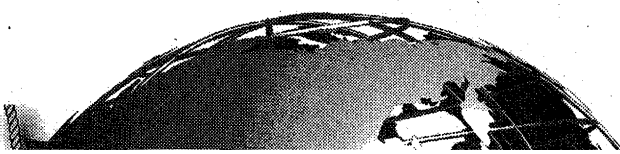
大型車が中型車と同じ上

「人の輪」の3拍子がそろっている。必ず大成功を収める。神戸港にも大きな貢献を果たしていただけるのでは」と期待を寄せた上で、「事務所や倉庫を集約したことで、物流総合効率化法に基づく『総合効率化計画』に認定された。税制面での優遇措置も受けられる」と述べた。

力を尽くしたい」と述べた。



MISC Reaching New Horizons



一、長距離フェリーにと、主要顧客である大型車が中型車と同じ上